

「三浦光世さん・綾子さんを偲ぶ懇談会」開催のご案内

主の御名を讃美いたします。

今年は三浦綾子さん生誕100周年の年です。

綾子さんは1959年（昭和34年）六条教会に転入会し、1999年（平成11年）に神様のみもとに召されるまで、当教会の一会員として信仰生活を全うされました。1964年（昭和39年）、小説『氷点』をかわきりに作家生活に入り、全国に三浦綾子ブームを巻き起こしましたが、綾子さんは決して旭川を離れず、旭川を拠点に数々の名作を書いてきました。綾子さんは小説を書く目的を「キリストの福音を伝えるためだ」と言っていました。綾子さんの原動力は聖書を読み、神に祈り、六条教会で信仰生活をするものでした。夫光世さんと一緒に礼拝に出席していた姿は、今でも多くの人たちの記憶に残っています。

綾子さん生誕100周年に当たり、三浦さんご夫妻を偲び、今一度ご夫妻の信仰に学ぶ時を持つことは有意義なことです。つきましては、下記のような計画で、三浦光世さん・綾子さんを偲ぶ懇談会を開催したいと思います。礼拝後の短い時間ではありますが、ご参加いただき、懇談のひと時を持てれば幸いです。

懇談会の内容

1. 開催期日 7月から12月まで（6回程度）
2. 時 間 毎回礼拝後（1時間程度）
3. 会 場 礼拝堂
4. 内 容 テーマに従って発題を聞いた後、参加者による懇談

7月10日	『道ありき』・春光台・文学碑」	山本春樹兄
8月21日	「三浦綾子さんと私」	神戸紀美子
9月11日	「三浦光世さん・綾子さんと六条教会」	佐藤善二兄
10月 9日	「三浦綾子さんと『塩狩峠』」	中西清治兄
11月13日	「長野政雄兄殉教碑について」	石川良三兄
12月11日	「三浦家と私」	松本清文兄